

東日本高速道路株式会社が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について



京都銀行（頭取 安井 幹也）は、東日本高速道路株式会社が発行するソーシャルボンドへの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

ソーシャルボンドは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）に資金用途を限定して発行される債券です。

同社は「サステナビリティ・ファイナンスフレームワーク」を策定し、2024年6月に株式会社 格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が定めるソーシャルボンド原則等に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しています。

今回の資金調達は、本フレームワークに基づき行われるもので、本債券発行による調達資金は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する高速道路建設等事業に充当されます。

当行では、今後もこのような事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

本債券の概要

銘柄	東日本高速道路株式会社第117回社債
年限	2年
発行額	330億円
発行日	2024年11月29日
充当事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路の新設・改築 ・ 高速道路の修繕・災害復旧 ・ 高速道路の特定更新

以上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。

